

平成 28 年 12 月 20 日

小山田地区まちづくり構想の策定について

小山田地区まちづくり構想策定委員会
会長 矢田 義秀

現在、小山田地区では「地区まちづくり構想」の策定を進めています。

策定の様子や経過は、地区広報「おやまだ」や小山田地区のホームページでもご紹介しておりますのでご存じの方もみえると思いますが、平成 26 年 11 月に「小山田地区まちづくり構想策定委員会」を立ち上げ、月 1 回程度、会議を重ねてきました。

約 2 年の調査・討議を経て、このたび構想の『骨子案』がまとまりましたので、地区住民のみなさんにお知らせするとともに、ご意見やご提案を承りたいと思っております。



別紙の『骨子案』をご覧ください、ご意見やご提案がございましたら、「意見用紙」にご記入の上、小山田地区団体事務局までご提出ください。今後、「地区まちづくり構想」の具体的内容を検討する中で、ぜひとも参考にさせていただきたいと思っております。

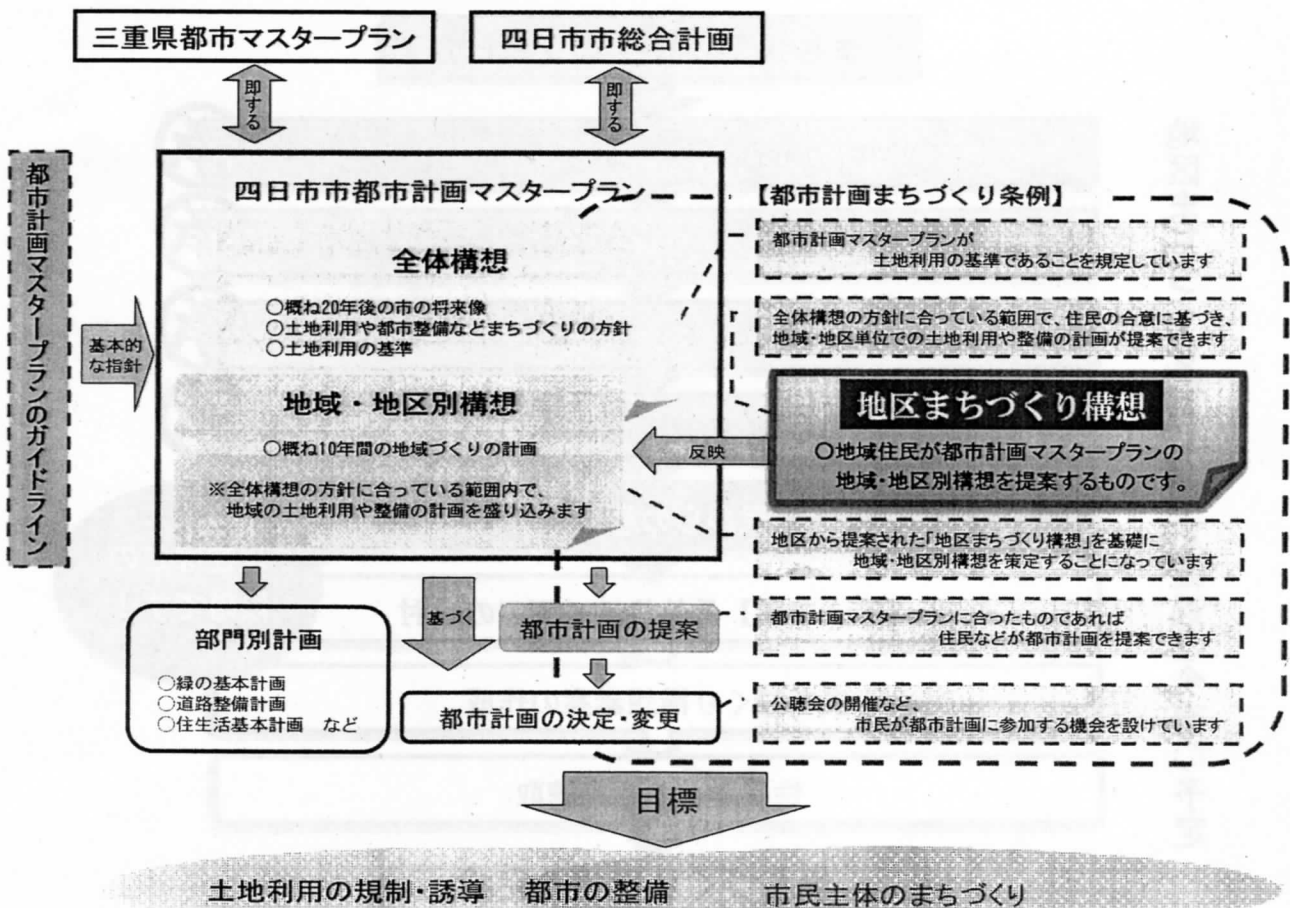
連絡先：小山田地区団体事務局 TEL&FAX：059-328-3320

参考 — 「地区まちづくり構想」とは？

「地区まちづくり構想」は、地域住民が主体となり、地域の資源（自然、歴史、文化等）を整理し、地区の将来のまちづくりの目標や方向性を定めて、市に提案を行うものです。

提案を受けた市は、構想の内容を反映させた概ね 10 年間の地域づくりの計画である「都市計画マスタープラン（地域・地区別構想）」を策定することにより、地域住民と市が協働によりまちづくりを行います。

将来に向けて、住みやすく明るい活力のある地区にしていくためには、「地区まちづくり構想」の策定を通じて、地区住民のみなさんの思いを形にすることが大切です。



「小山田地区まちづくり構想・骨子案」に対する意見用紙

お 名 前	
ご 住 所	
お電話番号	
ご 意 見	

お名前、ご住所、電話番号をお書き添えの上、平成29年1月13日（金）までに、小山田地区団体事務局までご持参いただくか、ファクスにてご提出ください。

提出先：小山田地区団体事務局（小山田地区市民センター2階）
 （住 所）四日市市山田町1373番地3
 （FAX）059-328-3320

※ご持参いただく場合は、平日8:30～16:00にお願いします。

小山田地区まちづくり構想〔骨子案〕

基本理念

大切にしたいこと

世代・時代・地域を越えて 「つながろう・つなげよう小山田」

鈴鹿山脈の山裾から緩やかな傾斜でつながる丘陵地には茶畑が広がり、川が開いた谷筋の田んぼでは無数の稲穂が風に揺れます。丘陵地の縁にあたる斜面には木々が茂り、地下水路であるマンボからは絶え間なく水が流れています。四季を通じて桜、ヒメコウホネ、れんげ草、彼岸花などの花々が咲き、ウグイスやキジの声が聞こえます。夏にはホタルが飛び交い、冬には雪をいただいた鈴鹿山脈を借景として、どこにいても絵になる、そんな自然豊かな農村地帯が私たちの住む小山田地区です。この地には、太古の昔から人びとの暮らしがあり、先人のたゆまぬ努力の上にこのような美しい地区の姿があります。この先もずっと、時代を越えて小山田地区の美しさを未来につなげたいという思いがあります。

昭和30年代になると四日市市に合併し、広い地区内に9つの町（内山、小山、鹿間、堂ヶ山、西山、美里、山田、六名、和無田）を持つ小山田地区が誕生しました。しかし、小山田地区は面積が広いうえ、起伏に富んだ地形などのため集落も点在しており、これまで各町が独自にまちづくりを進めてきました。今後、徐々に人口が少なくなる社会だからこそ、9町の枠を越えて小山田地区として1つにつながることで、今まで以上に地区を元気にしていきたいという思いがあります。

現代社会は、核家族化が進み、地域とのかかわりが少なく、人と人とのつながりが希薄になっています。少子化、高齢化が今まで以上に進むなかでは、その傾向はより一層強まるおそれがあります。一方、小山田地区は人口が少ない反面、人と人の関係が強い地域であり、大人も子どももみんな地域のことが大好きです。これからの時代においては、そうした人のつながりやふるさとへの愛着が強みとなります。9町の横のつながりのみならず、親から子、そして孫へとつながる世代間の縦のつながりを大切にしていきたいという思いがあります。

この「小山田地区まちづくり構想」をきっかけに、こうした「つながり」を大切に、小山田地区に笑顔の輪を広げていくため、基本理念を定めます。

子孫に残す 元気で住み続けられるまち 小山田

基本理念の「つながる、つなげる」という思いを大切にしながら、子や孫の代まで、将来にわたって笑顔を絶やさず、元気で住み続けられる小山田地区であることを願い、将来像を掲げます。

基本目標

小山田が向かうべき大きな方向

この将来像を実現するため、大きな4つの目標を掲げます。これらの目標に向けて、小山田地区にかかわるすべての人や組織が一丸となって取り組みを進めていきます。

○人と人とのつながりで、だれもが安全・安心に暮らせるまち

世代を越えて人と人がつながり、みんなで見守り、助け合うことによって、住民が安全に安心して暮らせる小山田地区をめざします。

○活気があり、快適に暮らせるまち

地区内とともに地区外との移動がしやすく、またみんなが集える生活拠点があることで、住民が便利で快適に暮らせる、活気のある小山田地区をめざします。

○自然や農業を通じてまとまり、つながるまち

地区の特徴である豊かな自然や農業をみんなで守り、将来に引き継いでいくことを通じて、地区のまとまりやつながりを生み出せる小山田地区をめざします。

○ふるさと愛を育み、発信するまち

地区の特徴を知り、郷土愛を育みながら、住民どうしが交流し、地区の文化を守ることで、素晴らしさを発信できる小山田地区をめざします。

小山田地区まちづくり構想 体系図（案）

<p>基本理念 〔大切にしたいこと〕</p>	<p>将来像 〔小山田のめざす姿〕</p>	<p>基本目標 (小山田が向かうべき大きな方向)</p>	
<p>世代・時代・地域を越えて「つながろう・つなげよう小山田」</p>	<p>子孫に残す 元気で住み続けられるまち 小山田</p>	<p>人と人とのつながりで、 だれもが安全・安心に暮らせるまち</p>	<p>高齢者が憩い、見守られるまち</p>
		<p>活気があり、快適に暮らせるまち</p>	<p>子どもが見守られるまち</p>
		<p>自然や農業を通じてまとまり、 つながるまち</p>	<p>災害に強く、犯罪に強いまち</p>
		<p>ふるさと愛を育み、発信するまち</p>	<p>地区内外が移動しやすいまち</p>
		<p></p>	<p>若者などが気軽に利用できるまち</p>
			<p>地区内に拠点が充実するまち</p>
			<p>自然と美しい景観が楽しめるまち</p>
			<p>地区全体で取り組むことができるまち</p>
			<p>地区内外の人が新しいつながりをつくるまち</p>
			<p>地域の文化、伝統を継承するまち</p>
			<p>住民どうしが仲良しなまち</p>
			<p>小山田地区の良いところを伝えるまち</p>

<p>取組方向 (小山田が取り組むべき方向)</p>	<p>検討中の取組内容 (現段階での具体的アイデア)</p>
<p>助け合えるまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 高齢者の居場所づくり ▶ 助け合い活動、困りごと支援 ▶ 医療・福祉施設との連携強化 など
<p>れ、安心して子育てできるまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 認定こども園の誘致、学童の充実 ▶ 地域ぐるみで教育、見守り ▶ 若者の交流機会づくり など
<p>罪や事故に遭わないまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 自然災害予防の対策 ▶ 犯罪防止のパトロール、登下校の安全対策 ▶ 通学路、狭あい道路等の整備 など
<p>しやすいまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 南北方面の主要道の整備検討 ▶ 高速バス等の新たな交通手段の検討 ▶ その他の交通手段の活用 など
<p>に住める (戻ってこられる) まちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 若年世帯の居住促進環境の創出 ▶ 空き家、空き農地の活用による若者定住 ▶ 文化的な活動の機会づくり など
<p>でき、集えるまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 各種施設の集約 ▶ 公共施設、商業施設の誘致 ▶ スポーツ施設や公園等の誘致 など
<p>観を守るまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 自然資源や景観の保護、活用 ▶ 自然を活用したイベント等の実施 ▶ 荒れ地の整備、不法投棄対策 など
<p>組む農業のまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 農業にかかる組織の一元化 ▶ 定年後に農業ができるしくみづくり ▶ 情報共有のしくみづくり など
<p>新鮮な農産物を手に入れられるまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 産直 (朝市) の場づくり ▶ 産直のための組織づくり ▶ 特産品づくり など
<p>統行事や農業が引き継がれるまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 農業体験、農業イベントの実施 ▶ 地区全体での祭り、行事の実施 ▶ 後継者の育成 など
<p>良く交流するまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地区全体での文化祭、運動会の開催 ▶ 外国人住民との交流 <li style="text-align: right;">など
<p>いところを知り、発信するまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地区の歴史、史跡などのマップづくり ▶ 新たなシンボルづくり <li style="text-align: right;">など

意見1

「小山田地区まちづくり構想・骨子案」に対する意見用紙

お名前	
ご住所	■■■■■■■■■■
お電話番号	
ご意見	<p>交通機関のよ1層の成長。それに伴う大型商業施設の呼び込み。子育てに適した土地である(教育、医療、治安治安)と考えられるが、人を呼び込むためには住みやすさ、働きやすさ、仕事が必要になる。頼町の様子から考えれば、インフラが近くにありつつ点では優位である。もしくは四日市市が現在力を入れている映画ロケ地への積極的参加により、^{時間的}呼び込み、娯楽、歴史的分野、教育分野、各地からの直通交通網。これらの活用が少く改善されれば、需要が増加し、供給もつねに足りていくと考えられる。</p> <p>小山田病院、椿神社の近さから宿泊施設もつくっていくことも可能である。"癒やし的小山田町"としても健康の"小山田町"としても、様々な活用がまだあるだろう。</p>

お名前、ご住所、電話番号をお書き添えの上、平成29年1月13日(金)までに、小山田地区団体事務局までご持参いただくか、ファクスにてご提出ください。

提出先：小山田地区団体事務局（小山田地区市民センター2階）
（住所）四日市市山田町1373番地3
（FAX）059-328-3320

※ご持参いただく場合は、平日8:30～16:00にお願いします。

意見2

内部川堤防にサイクリングロードを

宮妻峡から伊勢湾まで、水沢、小山田、内部、河原田、塩浜、5地区をまたいだ。サイクリング、ジョギング、ウォーキング、散歩等、を兼ねた道路を作ってもらっては、いかがですか。

橋など道路と交差するところは、河川の中へ道路を作り、

車とは、別世界。堤防には、春は桜、秋には紅葉、色々な木を

植えて皆さんが楽しめる、公園等、道路を作ってもらえば、

アスナロ鉄道もお客さんが増えるかもしれません。

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

意見3

「小山田地区まちづくり構想・骨子案」に対する意見用紙

お名前	[REDACTED]
ご住所	[REDACTED]
お電話番号	[REDACTED]
ご意見	検討中の項目に「自然資源や景観の保護」とあるが、現在計画中である「太陽光発電」については、どのように考えておられるのか？自然の保護や景観の的からも、なぜ里山とくずしてまで「太陽光発電」を進めようとするのか？全くもって自然破壊だと思います。

お名前、ご住所、電話番号をお書き添えの上、平成29年1月13日（金）までに、小山田地区団体事務局までご持参いただくか、ファクスにてご提出ください。

提出先：小山田地区団体事務局（小山田地区市民センター2階）
（住所）四日市市山田町13-73番地3
（FAX）059-328-3320

※ご持参いただく場合は、平日8:30~16:00にお願いします。